

山口新聞

平成29年10月13日(金)

NO.269

【中山間地域等直接支払集落協定】

農地・水・環境

守ろう地域の手に



269



当地区は山口市最北東部、角川周辺に位置する。四方の、名峰・十種ヶ峰の麓で、を山に囲まれた自然豊かな2級河川・阿武川支流の神、小さな集落である。

集落の美しい自然を守る 神角集落協定(山口市)

●会員の皆さん
●田植えに取り
組む山口大生
(農業体験学習)

平均年齢70歳以上の超高齢化集落で担い手はなく、稲作のみを行っている。水源は十種ヶ峰からの清流を使用し、県内有数の良質米で知られる。

集落協定で3月の用水路清掃、月1回のあぜの草刈り、農道の補修、年2回の無線操縦ヘリコプターによる防除などに取り組んでいる。鳥獣被害対策としては、集落周辺を金網防護柵で囲い、イノシシの侵入を防いでおり、金網の点検補修は入念にする必要がある。

5月の連休には、十種ヶ峰に群生するヤマシヤクヤク(環境省レッドリスト危急種でボタン科多草年の一種)の開花を見ようと、広島、福岡を始め県内外から多くの登山客が訪れる。地元で採れた山菜、ワサビの葉、お米などを販売し、好評を得ている。



都市住民との交流の一環で山口大生との農業体験学習や、中学生の農家民宿体験を実施、美しい中山間農地集落に触れて頂き、交流を深めている。

これからも地域一体となり集落の自然を守って行こうと思う。(代表、鶴岡康男)

■金曜日掲載■

【メモ】代表 鶴岡康男
▽会員 13人、農家(10戸)、農事組合法人の神友会、鍛冶が原耕作組合、阿東セントラルファーム(株) ▽設立 2000年9月29日 ▽連絡先 山口市阿東徳佐下3706、鶴岡康男、電話 0833-9167-03675